



くるがねもち



フェイスブックページ: <https://m.facebook.com/makusyuu/>

ホームページ: <http://www.city.makurazaki.lg.jp/site/primary-makurazaki/>

センス・オブ・ワンダー(神秘さや不思議に目を見張る感性)のチャンス

校長 平川 貴之

校内清掃をする私に「校長先生、おはようございます。」と元気に挨拶をする子がいました。足下に興味津々の虫を発見したようで「あっ、ダンゴムシ！」と指でツンツンし始めました。「あっ、これ違う。」と独り言。「なぜ？」と私が聞くと「丸くなるのがダンゴムシ。丸くならない似てるのは、なんとかって言う虫なんです。」と答えてくれました。二匹を近づけて見てみると「色が違う。動きも。やっぱ違う。」と更なる発見。「名前や特徴などを図書室の図鑑で詳しく調べたらどうかな。また先生にも教えてね。」と別れました。

今月本校の読書目標は「自然科学の本を読もう」です。図書室は蔵書数が多く、掲載も工夫され充実しています。今朝のようなちょっとした自然に関する出来事が、児童一人一人を図書室に、そして自然科学の世界に誘うことになったらいいなと思います。知識が自然との関わりを更に価値ある面白いものとしします。子供たちにぜひ「自然科学」の本を読んでほしいと思っています。



子供たちは、日常的に関わる自然から「面白いと思うこと」「不思議に思うこと」「発見すること」「感動すること」など心躍る体験をしています。自然科学者のレイチェル・カーソンは、これを「センス・オブ・ワンダー」(神秘さや不思議に目を見張る感性)と呼んでいます。「子供たちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激にみちあふれています。残念なことに、私たちの多くは大人になる前に澄み切った洞察力や美しいもの、畏敬すべきものへの直感力を鈍らせある時は全く失ってしまいます。」と述べ、次のように続けています。

「妖精の力に頼らないで、生まれつきそなわっている子供のセンス・オブ・ワンダーをいつまでも新鮮に保ち続けるためには、私たちが住んでいる世界の喜び、感激、神秘などを一緒に発見し、感動を分かち合ってくれる大人が少なくとも一人、そばにいる必要があります。」と。

南日本新聞の「若い目」に本校2年生森政宗さんの「つよいぞピーマン」が掲載されました。ブロック塀の隙間から力強く生え冬を耐え実をつけるピーマンを発見し、おばあちゃんら多くの人と魅せられたという話です。センス・オブ・ワンダーを保ち続けるためにも、保護者や我々学校職員、地域の方々などいわゆる



政宗さん発見のピーマン(写真:南日本新聞)

「そばにいる大人」が興味をもち感動を子供たちと分かち合う温かな関わりが大切だと感じた作文でした。

センス・オブ・ワンダーのチャンスは校内外の至る所に見られ、更によりよいものにしようとして学校では環境整備に取り組み始めました。我々大人が、チャンスを前にした子供たちに「すごいね。」「へえ、そうなんだ。」「面白いねえ。」と一緒に心躍らせ楽しんで関わりたいものです。

Heart-Warming School (ハートウォーミングスクール)

あるご家庭から「家にはあるので」と飼育小屋のうぎき「グレイ」に給水器をいただきました。大切に使用します。ありがとうございます。



7月の生活目標

学校をきれいにしよう!

保健目標

夏を健康に過ごそう!

不審者対応避難訓練 110番の家かけ込み訓練

6月10日(木)、不審者対応の避難訓練を実施しました。今回の訓練は、不審者が校内に侵入したという想定で行われました。併せて、登下校中に子供たちが不審者に遭遇し、110番の家へかけ込んだ時の対処の仕方などを学びました。110番の家のかけ込み訓練では、友達の意見を交わす学び合いの場も設けました。子供たちの様子は真剣そのもので、緊張感をもって取り組みました。今後、生活の中で生かしてほしいと思います。



全国小学生歯みがき大会

6月4日(金)に全国小学生歯みがき大会が行われました。この大会に本校の5年生が参加し、テレビ画面を見ながら、歯みがきについてのクイズに答えたり、実際に歯ブラシを使って正しい歯みがきの仕方について学んだりしました。子供たちは、テレビ画面を見ながらの歯みがきの学習が初めてだったので、意欲的に取り組めたようです。



日曜参観 ご協力ありがとうございました

1世帯1人の人数制限に、参観時間の短縮などご理解・ご協力ありがとうございました。来校カードの配布・胸元の提示、参観時間帯を複数つくるための2~3校時、多い学年は4校時までの授業参観の設定などいろいろ工夫することで「密」ができることもなく、感染対策を保護者の皆様と共に行い開催できたことが更に嬉しいことでした。



教育実習が行われました。

6月6日(日)~6月18日(金)にかけて、鹿児島女子短期大学の茅野雅利乃(かやのまりの)さんが本校で10日間の教育実習を行いました。各教科の講義を受けたり、授業参観をしたり、最後の週では自ら授業を行うなど有意義な実習を行うことができました。3年1組の子供たちとの思い出もできたことでしょう。



入賞おめでとございます

<市民あいさつ運動標語コンクール>

【最優秀賞】

3年 甲斐 咲綾
「枕崎 カツオと
あいさつ 日本一」
4年 瀬崎 結菜
「マスクしてもつたわるよ
にっこりあいさつ かがやく目」



【優秀賞】1年 村山 和輝 6年 山下 姫菜子

【優良賞】1年 立石 悠音 1年 下園 梨愛
4年 田野尻 嵐 6年 向井 結渚

【佳作】5年 上木原 統真

<歯と口の健康週間 図画・ポスターコンクール>

【優秀賞】

3年 上釜 龍志 (枕崎市歯科医師会長賞)

6年 加藤 夢彩 (枕崎市教育長賞)

【入賞】2年 福島 麗 6年 向井 結渚

クラブ活動【鉄道クラブ】

本校には、小学校のクラブとしてはユニークな鉄道クラブがあります。枕崎小の近くには、鹿児島中央駅と鉄道線路でつながる九州最南端の枕崎駅があります。

先日のクラブでは子供たちがタブレットを使って枕崎駅のことなどを進んで調べ、初めて分かったことに興味津々でした。クラブ活動を通して、子どもたちが鉄道そのものや鉄道を通して、枕崎市と他県または他の市町村との結びつきに興味・関心をもってもらえたらと思います。

